

いの流水俳壇

「当季雑詠」

特選

少年の拳の行方薄氷

刈谷 志津選

津田 久美
【評】薄氷は薄氷とも言う。春先に薄々と張る氷である。今年の冬は例年になく厳しい寒さが続き、朝の気温は氷点下の連続で、水道管の凍結及び氷による種々の弊害をもたらした。ふと見ると一人の男の子が握り拳を振り上げている様子を「少年の拳」で表現。さあ、何処へ拳の行方をと、はらはしながら見守っていると、すぐ前の手洗い桶に張っている薄氷に「えいーやあ」の掛け声で振り下ろし、バリバリの音と共に氷を割った。いたずら盛りの少年の行動をリアルに捉え、興味津々を誘うすばらしい表現力に感動。

陶の雛立てて歳時記開きけり

植田 紀子

【評】三月三日は雛祭り「桃の日」とも言う。いの町でも盛大に雛祭りの行事が行われたと聞く。流水の句会で、「にこやかに町長さんも雛の列」(博子)の一句を見、明るい「いの町」、美しい町長さんに感動する。焼き物の陶器で作られた「陶の雛」のお雛様を身近な机の上に飾り、毎日眺めながら、俳人になくはならない「歳時記」を読む。歳時記とは、春夏秋冬、新年と季節を分類し、解説や例句をつけた書で、季語を掲載した俳諧歳時記である。雛と歳時記の取り合わせ「歳時記開きけり」の借辞により明るさの差し込む開放感と、日常の生活の中に深く根付いた俳句との絆を感じる佳吟。

山里の夜明け初音のよどみなく

川村 博子

【評】俳句で言う初音とは、今年最初に聞く鶯の声の事で、人により聞く日は違ってくる。昔から「梅に鶯」といって春の先駆けとされている。また初音は二月初め頃で、鳴き声もおぼつかなく、たどたどしいが、「よどみなく」で流暢であったと詠んでいる。と言うのも作者が聞いた初音は二月二十八日の朝であり、鶯はすでに練習の過程は終了して、声量も節回しも上手になり、清涼で円滑な囀りとなっていた。美しい初音に出会えた嬉しさ、鶯(春告げ鳥)の現出で山里にふさわしい景色となり、高まる春への鼓動が伝わり、臨場感の溢れる佳句。

入選

寒明けや百歳近き独り言

片岡 包女

【評】立春が来ると寒明けとなる。そこで百歳近い作者。誰もが真似できないほどの長生き。自然と出てくる独り言。それもまためでたい。

紅に燃ゆる命や寒椿

大川 節弥

【評】寒中に咲く椿の花。花の乏しい庭に咲き、寒さに染まり、色を極めた紅色椿。まるで命を燃すかのように赤々と燃えている。たとえようのない美しさ。忘れられない寒椿となった。

遠霞あゝ雲の下訪ねたし

岡村 嘉夫

【評】春になると遠景はぼんやりとして、霞がかかり薄らぐ。「あの雲の下訪ねたし」の借辞で、あの雲の下はきつとなつかしい故郷と思う。遠さがる郷へ行ってみようという郷愁の思いが伝わる。

向き変り野火が顔面おそいけり

森岡 照月

【評】早春に野や山を焼くことを野焼き、その火を野火と言う。突然風向きが変わり、安全な場所が一変して火と煙が正面から顔に来て一目散に逃げる羽目になった。

鳴き声が闇をつらぬく猫の恋

平野 洋子

【評】猫は寒中から早春にかけて妻恋を始め、夜な夜な鳴き回り、暗闇を引き裂くようなすさまじい声をあげる。これがためらうことなき猫の恋の実態である。

一句抄

春耕の丘に旧師の美術館

植田 紀子

山笑ういかにも笑う向い山

大川 節弥

帰省の子地酒喜ぶ春の宵

岡村 嘉夫

夕闇に白木蓮のシャンデリア

竹崎たかひろ

遍路行く足取り一歩また一歩

渡邊ゆかり

遠山に白梅かすむ夕まぐれ

石原 静

猪の子たち吾の筍握らないで

片岡 豊子

老いたれば来し方すべて朧なる

津田 久美

久々に人影動く四温晴れ

川村 博子

冬季五輪メダルラッシュとなりけり

刈谷 志津

次題「当季雑詠」

締切／毎月1日

投句先 教育委員会事務局

いの町1700-1

893-1922

平成29年度こども川柳年間優秀作品

最優秀

初日の出 真っ赤な太陽 絶景だ

伊野小 6年 池 芯暢

【評】元日の早朝拝んだ初日の出。真っ赤に輝く太陽と出会った時の感動が句の中に広がって、明るく希望にあふれた句になりました。きつとより良い明日が待っていることでしょう。

優秀

雨あがり 虹も笑顔も きれいだな

川内小 5年 市川 あい

【評】雨あがりの空にかかった虹と、それを見上げる人たちの笑顔が、区の中にしっかりと表現されていて、その時の光景が浮かんできます。素敵なお川柳になりました。

あいさつの 秘密道具で ハッピーに

枝川小 6年 佐野 睦

【評】元気な朝のあいさつは一日を明るくしてくれる言葉です。あなたの秘密道具とはとてもおきの笑顔でしょうか？そんな笑顔に出会えたら、みんなきつとハッピーな気持ちになると思います。楽しい句になりました。

入選

えんそくだ てんきよほうと にらめっこ

伊野小 4年 宮崎 礼奈

暑い夏 アイスと一緒に のりこえる

伊野小 6年 町田 京珠

走ろうよ 今は秋だよ 運動だ

伊野小 6年 割田 紗矢

新年度 希望と夢が 勢ぞろい

伊野南小 6年 森沢 梨緒

化石はね 過去を伝える メッセージ

伊野小 6年 岡林 太一

ドキドキだ リレー選手に なるかな

伊野小 5年 藤田 美来

サンタさん おもちゃエジよう あるのかな

枝川小 2年 濱田 夢芽

※選評は、川柳連会の皆さんにお願いしています。